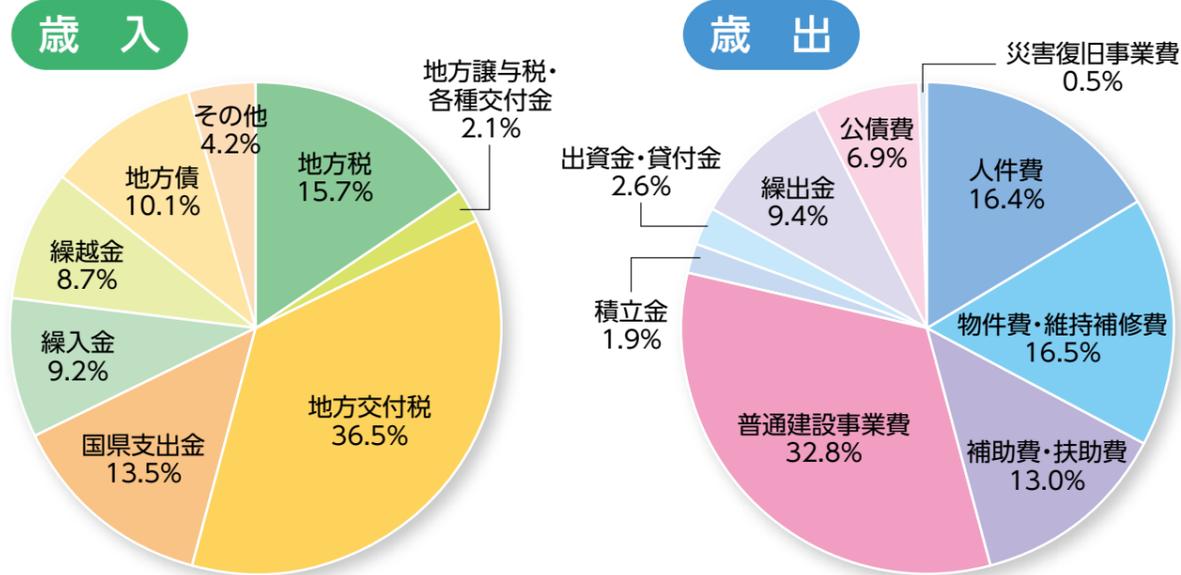


七ヶ宿町の平成29年度 決算の状況をお知らせします

みなさんから納めていただいた税金や国・県からの支出金等がどのように使われているかを平成29年度の普通会計(一般会計・町営バス特別会計・介護サービス特別会計・七ヶ宿ダム自然休養公園特別会計)を中心に決算の概要をお知らせします。

平成29年度に普通会計において町に入ったお金(歳入)は、31億3,908万円で、町が使ったお金(歳出)は、28億8,668万円でした。前年度と比べると歳入は4,108万円の増、歳出は4,607万円の増となりました。

歳入歳出決算状況の割合



平成29年度の主な事業

<p>賑わい拠点施設整備事業 〈事業費 3億4,306万円〉</p> <p>町内外の方が楽しく交流できる施設として、賑わい拠点施設多目的交流棟の建設工事のほか、ミニスーパー建設工事を実施しました。</p> 	<p>担い手づくり支援住宅建設事業 〈事業費 4,460万円〉</p> <p>若い世代の移住促進を図るため、町外の方を対象に貸し付ける住宅2棟を建築しました。(概ね40歳以下で、義務教育課程の子どもがいる世帯が対象)</p> 	<p>ふるさと体験交流館改修事業 〈事業費 2億8,512万円〉</p> <p>旧湯原小学校を改修し、宿泊型交流施設を整備しました。宿泊施設としてだけでなく、農業体験交流や地域の方々の交流施設として活用していきます。</p> 
<p>消防ポンプ自動車等購入事業 〈事業費 1,423万円〉</p> <p>消防活動の充実を図るため、消防ポンプ自動車及び小型動力ポンプ積載車の更新を図りました。</p> 	<p>各種検診事業 〈事業費 1,601万円〉</p> <p>町民の皆さんの病気を早期発見出来るよう各種検診を実施したほか、20歳代の人間ドック、脳ドック等の受診に対して助成事業を行いました。</p> 	<p>電気柵購入事業 〈事業費 2,923万円〉</p> <p>イノシシやサルなど有害鳥獣による農作物被害防止のため、横川、湯原、峠田の3地区17,970mにわたり電気柵を設置しました。</p> 

決算の状況

歳入		
地方税	4億9,340万円 (↓)	町民税、固定資産税などみなさんから納められた税金やダム交付金などです。
地方譲与税・各種交付金	6,511万円 (↑)	自動車重量譲与税及び地方消費税交付金や利子・配当にかかる税の一部が町に交付されたお金です。
地方交付税	11億4,705万円 (↓)	地方税の収入が少ない団体に財源を保障し、一定の行政サービスを提供できるように国から交付されたお金です。普通交付税と特別交付税、震災復興特別交付税があります。
国県支出金	4億2,479万円 (↑)	国や県から特定の目的のために支出されるお金です。
繰入金	2億8,727万円 (↓)	財源不足を補うために基金などから補っているお金です。財政調整基金、減債基金、振興基金などが含まれます。
繰越金	2億7,229万円 (↑)	前年度から繰り越したお金です。
地方債	3億1,640万円 (↑)	町が財源を確保するために借り入れたお金です。
その他	1億3,277万円 (↑)	町の施設使用料や町営バスの使用料・中小企業等への貸付金の元利収入などのお金です。
合計	31億3,908万円 (↑)	

歳出		
人件費	4億7,231万円 (↓)	町長や議会議員の報酬、職員の給与、共済組合(社会保険)の負担金などになります。
物件費・維持補修	4億7,671万円 (↑)	物件費は電話代や郵便代、燃料費、光熱水費、消耗品費、委託料などになります。維持管理費は町が管理する公共用施設等を維持するための経費になります。
補助費・扶助費	3億7,597万円 (↓)	補助費は各種団体への補助金、仙南地域広域行政事務組合や公立刈田総合病院等への負担金などになります。扶助費は生活するための社会保障給付金、医療費助成などになります。
普通建設事業費	9億4,665万円 (↑)	消防ポンプ自動車等購入や賑わい拠点施設建設工事などに使われたお金です。
積立金	5,611万円 (↑)	町の貯金で財源不足が生じた時の蓄えとして、財政調整基金などに積み立てたお金になります。
出資金・貸付金	7,379万円 (↓)	民間等に対して必要な資金の貸し付けを行うためのお金です。
繰出金	2億7,188万円 (↓)	国民健康保険、診療所、介護保険、後期高齢者医療、簡易水道、公共下水道などの特別会計に補ったお金です。
公債費	1億9,883万円 (↓)	町が財源を確保するために借り入れたお金の返済金です。
災害復旧事業費	1,443万円 (↓)	大雨などの災害により被災した施設を復旧するためのお金です。
合計	28億8,668万円 (↑)	

※ () 内の矢印は、平成28年度決算と比較しての増減を表しています。

歳入から歳出を差し引き、翌年度へ繰り越した額を除いた実質収支は… **9,231万円**となりました。